

令和3年度後学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果

I 講義・演習科目

質問・回答（特に記載がない場合は5:強くそう思う,4:そう思う,3:どちらとも言えない,2:そう思わない,1:全くそう思わない） ◇受講した授業科目に関して、質問1～9は授業全体及び教員について、質問10～17は自分自身についての評価項目となります。	後学期前半科目					後学期後半科目					後学期科目					オンラインセッション科目				
	専門		一般			専門		一般			専門		一般			専門		一般		
	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基	建築	総合	化学	総合	共基
Q1 授業は学習目標が達成できるよう適切に行われましたか。	—	4.2	—	—	—	—	4.3	—	—	—	4.2	4.2	—	4.3	4.3	—	4.4	—	—	—
Q2 授業はシラバスに沿って行われていましたか。	—	4.5	—	—	—	—	4.4	—	—	—	4.2	4.2	—	4.4	4.4	—	4.4	—	—	—
Q3 授業はよく準備され、熱意を持って行われましたか。	—	4.3	—	—	—	—	4.3	—	—	—	4.2	4.2	—	4.2	4.2	—	4.4	—	—	—
Q4 授業は学生の反応や理解度を考慮しながら行われましたか。	—	3.9	—	—	—	—	4.1	—	—	—	4.0	3.9	—	4.1	4.1	—	4.6	—	—	—
Q5 授業は円滑に運ぶよう配慮されていましたか。	—	4.2	—	—	—	—	4.2	—	—	—	4.2	4.1	—	4.3	4.3	—	4.4	—	—	—
Q6 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	—	4.6	—	—	—	—	4.3	—	—	—	4.2	4.1	—	4.2	4.2	—	4.6	—	—	—
Q7 メディア講義で利用したシステムや講義動画・資料は、適切でしたか。	—	4.2	—	—	—	—	4.3	—	—	—	4.1	4.1	—	4.2	4.2	—	4.4	—	—	—
Q8 授業時間（オンタイム）外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか。	—	4.2	—	—	—	—	4.2	—	—	—	4.0	4.0	—	4.2	4.2	—	4.8	—	—	—
Q9 課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか。	—	4.6	—	—	—	—	4.3	—	—	—	3.8	3.9	—	4.3	4.3	—	4.0	—	—	—
Q10 あなたにとって授業は全体として満足できるものでしたか。	—	4.2	—	—	—	—	4.2	—	—	—	4.1	4.0	—	4.2	4.2	—	4.2	—	—	—
Q11 あなたにとって学修した知識は今後役立つと思いますか。	—	4.3	—	—	—	—	4.2	—	—	—	4.3	4.2	—	4.2	4.2	—	4.6	—	—	—
Q12 あなたにとって授業の難易度は適切でしたか。	—	3.7	—	—	—	—	3.8	—	—	—	4.0	3.8	—	4.0	4.0	—	4.0	—	—	—
Q13 この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間（オンタイム）外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか。 回答 5:3時間以上,4:2～3時間,3:1～2時間,2:1時間未満,1:取り組んでいない	—	3.2	—	—	—	—	3.3	—	—	—	3.0	3.0	—	3.2	3.2	—	3.8	—	—	—
Q14 現時点での授業の受講率はどのくらいですか。 回答 4:90%以上,3:70～89%,2:30～69%,1:30%未満	—	3.9	—	—	—	—	3.7	—	—	—	3.8	3.7	—	3.8	3.8	—	3.6	—	—	—
Q15 この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可）。 回答 5:文献資料を閲覧・借った,4:予習・復習をした,3:レファレンスサービスを利用した,2:相互利用(他学部・他大学からの取り寄せ)を利用した,1:全く利用していない	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
Q16 この授業科目に関し、授業時間（オンタイム）外に、担当教員に対し質問等を行いましたか。	—	2.4	—	—	—	—	2.7	—	—	—	2.1	2.5	—	2.3	2.3	—	2.2	—	—	—
Q17 この授業科目に関し、授業時間（オンタイム）外に、学生間で共に学修しましたか。	—	2.9	—	—	—	—	3.2	—	—	—	2.8	2.9	—	2.9	2.9	—	1.6	—	—	—

II 実験・実習科目

Q1 授業は学習目標が達成できるよう適切に行われましたか。	—	4.4	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.2	4.4	—	4.3	4.3	—	4.4	—	—	—
Q2 授業はシラバスに沿って行われていましたか。	—	4.8	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.3	4.4	—	4.3	4.3	—	4.6	—	—	—
Q3 授業はよく準備し、熱意を持って行われましたか。	—	5.0	—	—	—	—	4.7	—	—	—	4.3	4.3	—	4.3	4.3	—	4.6	—	—	—
Q4 提出物（課題、レポートなど）の書き方やまとめ方の指導は適切でしたか。	—	4.8	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.2	4.2	—	4.2	4.2	—	4.1	—	—	—
Q5 授業は円滑に運ぶよう配慮していましたか。	—	4.4	—	—	—	—	4.3	—	—	—	4.2	4.3	—	4.2	4.2	—	4.6	—	—	—
Q6 話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	—	4.6	—	—	—	—	4.7	—	—	—	4.2	4.2	—	4.2	4.2	—	4.4	—	—	—
Q7 メディア講義で利用したシステムや講義動画・資料は、適切でしたか。	—	4.0	—	—	—	—	4.0	—	—	—	4.1	4.0	—	4.2	4.2	—	3.7	—	—	—
Q8 授業時間（オンタイム）外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか。	—	4.4	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.1	4.2	—	4.2	4.2	—	4.3	—	—	—
Q9 課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか。	—	3.4	—	—	—	—	4.3	—	—	—	4.3	4.1	—	3.6	3.6	—	4.3	—	—	—
Q10 あなたにとって授業は全体として満足できるものでしたか。	—	4.8	—	—	—	—	5.0	—	—	—	4.2	4.2	—	4.1	4.1	—	4.3	—	—	—
Q11 あなたにとって学んだ技術や実技などは今後役立つと思いますか。	—	4.8	—	—	—	—	4.7	—	—	—	4.4	4.2	—	4.1	4.1	—	4.6	—	—	—
Q12 あなたにとって授業の難易度は適切でしたか。	—	4.2	—	—	—	—	4.3	—	—	—	3.9	4.0	—	3.8	3.8	—	3.9	—	—	—
Q13 この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間（オンタイム）外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか。 回答 5:3時間以上,4:2～3時間,3:1～2時間,2:1時間未満,1:取り組んでいない	—	4.4	—	—	—	—	3.7	—	—	—	4.5	3.8	—	4.2	4.2	—	3.9	—	—	—
Q14 現時点での授業の受講率はどのくらいですか。 回答 4:90%以上,3:70～89%,2:30～69%,1:30%未満	—	4.0	—	—	—	—	4.0	—	—	—	3.9	3.9	—	4.0	4.0	—	3.9	—	—	—
Q15 この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可）。 回答 5:文献資料を閲覧・借った,4:予習・復習をした,3:レファレンスサービスを利用した,2:相互利用(他学部・他大学からの取り寄せ)を利用した,1:全く利用していない	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
Q16 この授業科目に関し、授業時間（オンタイム）外に、担当教員に対し質問等を行いましたか。	—	3.2	—	—	—	—	2.7	—	—	—	2.7	3.1	—	2.7	2.7	—	2.7	—	—	—
Q17 この授業科目に関し、授業時間（オンタイム）外に、学生間で共に学修しましたか。	—	4.2	—	—	—	—	3.7	—	—	—	3.3	3.7	—	3.6	3.6	—	3.6	—	—	—

※1 表の数字は学生が評価した各選択肢の平均値。ただし、Q15(2か所・斜線表記部)については、質問の性格上(図書館の利用状況についてのため)、平均化の処理をしていません。

※2 「I 講義・演習科目」と「II 実験・実習科目」では質問内容が一部異なります。

※3 「—」の表記は、該当科目がないことを意味します。

※4 各履修期及び授業区分において、延べ回答者数が5名未満の場合は、集計結果を公表していません。

令和3年度後学期実施分「授業改善のためのアンケート」集計結果の分析・コメント

1 建築・生活デザイン学科

コロナ禍継続により結果として引き続き、実験・実習科目の一部は感染対策を図りながら対面形式、その他の科目はオンラインで実施された授業に対するアンケート結果となる。

【講義・演習科目】

令和2年度後学期アンケート結果と比較すると、教員側のオンライン授業への習熟度が高まったことも一因となるが、相対的に高い満足度が得られている。しかしながら一方で、オンライン授業に慣れてきたこともあるのか、授業時間外での担当教員への質問等が減少している。今後オンライン環境下での授業実施が余儀なくされた場合、教員と学生の双方向性をより積極化させるための工夫が必要となる。

【実験・実習科目】

昨年度とほぼ同様の結果を得られている。講義・演習科目より良好な数値となっていることから、対面形式での実施について満足は得られていると思われる。しかしながら感染症対策のため制限された対面授業環境に起因するのか、ここでも教員への質問等の数値が減少している。同様の状況が続いた場合、学びの双方向性をいかに担保させていくのか、考えていく必要があろう。

2 ものづくり・サイエンス総合学科

Q1～Q12の評価項目について、講義・演習科目の場合、前年度同学期と同等な評価で4点前後と良好であり、メディア授業において、授業改善に向けての教員の取組は、一定の評価が認められる。一方、対面授業となった実験・実習科目については、全ての項目において、前年度同学期より上昇した評価となり4点以上の高い評価を得ている。

Q13については、前年度と同等な結果となっている。特に、講義科目での評価はまだ低い傾向にあるため、改善の取組みは引き続き必要である。

また、授業への受講率(Q14)はおおむね良好である。あわせて、教員への質問(Q16)や学生間での学修(Q17)に関する評価については、対面授業となった実験・実習科目ではおおむね上昇傾向が見られ、講義・演習科目においても対面授業下での改善に期待される。

3 短大一般教育

【講義・演習科目】

受講生は授業に関してQ1からQ12までは4点台と満足していると見ることができる。オンライン授業が主であり3点台のQ13、Q14については、4点台に到達するように改善を謀る必要がある。特に、Q13は学生の予習、復習の時間を増やすには教員側が自宅学習の課題等の工夫をもう少しすることで改善すると思われる。

Q16、Q17が2点台に留まっているのは、学生がキャンパスに登校できていないことも大きな要因と見ることができる。オンラインでの授業では、学生間での授業時間外で学修をする機会はほとんどない状況下であるため、授業時間外に学生同士あるいは教員と学生との質問や学修ができるプラットフォームを構築することが必要である。

【実験・実習科目】

おおむね学生は満足していると見ることができる。3点台のQ9は学生のレポート等のフィードバックにもう少し手を加えることで4点台に改善できると思われる。2点台のQ16は、対面での実験・実習においても授業時間外に学生同士あるいは教員と学生間で質問ができるプラットフォームを構築すれば3点台に改善する方向に行くと思われる。